



銀座街づくり会議 / G2020 連続シンポジウム

新しい銀座ヴィジョン

未来にわたって銀座が個性輝く街でありつづけるために

GINZA
Machidukuri Council



江戸末期における銀座の町パターン

主催 銀座街づくり会議 / G2020

18世紀日本の屋上サイン

連続
シンポジウム
第3回

世界から見た銀座の都市デザイン

著書「日本の都市から学ぶこと」において、日本の文化と都市のあり方との関係に鋭い考察を提示したバリー・シュルトンさんに実際に銀座の街を歩いてもらい、建築・街並み・広告の関係、銀座デザインルールの考え方について、批評していただきます。都市を線上空間の集合構造とみなすヨーロッパと、自立した面のパッチワークと捉える日本（そこでは街路は画地をつなぐサービス動線ではない）。街路が、見る-見られるための舞台であるヨーロッパと、街路とはあらゆるサインが前面に出、情報が脈動する経路である日本。日本では、建築ファサードデザインも、中で何が起きているかを伝える情報なのだ、シュルトンさんは言います。その違いは、漢字・ひらがな・カタカナ、さらにはアルファベットが混在する文字文化に由来すると、シュルトンさんは喝破しました。銀座デザイン協議会を立ち上げて約10年。明治以来、日本の近代化を担ってきたと自負する都市・銀座は、どのような都市デザインを目指すべきなのでしょうか？

日時

2016年11月11日(金)
13:30～15:30(13:00開場、受付開始)

場所

銀座フェニックスプラザ3F会議室
(中央区銀座3-9-11)
<http://www.phoenixplaza.co.jp/>

日英通訳付き

参加費無料 / 定員200名

※定員に達し次第、申込みを締め切らせていただきます。
※誠に恐れ入りますが、1社2名様までとさせていただきます。

基調講演

「世界から見た銀座の都市デザイン」

講師 **バリー・シュルトン**
(シドニー大学名誉教授)



1944年イギリス・ノッティンガム市生まれ。1986年アデレード大学大学院建築学科都市計画修士課程修了。1990-97年タスマニア大学アーバン・デザイン学部長、2002-09年シドニー大学アーバン・デザイン学科主任兼大学院副学部長、2010-13年メルボルン大学アーバン・デザイン学科准教授。2000年バーミンガム・シティ大学客員教授、2007年名古屋大学客員教授、現在、シドニー大学建築・デザイン・都市計画学部名誉教授、専門は都市史・都市理論・都市形態学・都市デザイン。

パネルディスカッション

バリー・シュルトン

蓑原 敬

小林 博人

都市プランナー(蓑原都市計画事務所)
銀座街づくり会議アドバイザー
建築家(KMDW)
慶應義塾大学教授
銀座街づくり会議アドバイザー

蓑原 敬



1933年東京生まれ、福岡育ち。東京大学教養学科アメリカ科卒、日本大学工学部建築学科卒。1960年建設省(現国土交通省)入省。茨城県住宅課長、都市計画課長、建設省住宅局住宅建設課長、などを歴任後1985年退官。1989年蓑原計画事務所創設所長、今日に至る。2004年以降銀座まちづくり会議アドバイザー。

小林 博人



1961年東京生まれ。京都大学、ハーバード大学大学院デザインスクール(GSD)で、建築設計・都市デザインを学び、日建設計、ノーマン・フォスター事務所で設計の実務を行う。2003年日本の伝統的なコミュニティである「町」に関する研究でGSDからデザイン学博士号取得。小林・横デザインワークショップ(KMDW)を主宰し国内外で建築・都市設計に従事。慶應義塾大学では新しいサステイナブルコミュニティ再生の手法を研究中。

シンポジウム参加ご希望の方は、
ファックス、またはメールにて、

11月4日(金)までに
お申し込みください。



FAX

03-3563-0236

(下記のFAX申込書にご記入いただきお送りください。)



E-mail

event@ginza-machidukuri.jp

(①お名前 ②ご所属 ③お電話番号 ④メールアドレスをご記入ください。)

シンポジウム参加申込書(FAX)

お名前	貴社名・ご所属
ご住所	TEL
FAX	E-mail

※参加証・会場地図をお送りしますので、FAX番号もしくはメールアドレスを必ずご記入ください。

「新しい銀座ビジョン」を描くために

銀座では近年、①外国人観光客の激増 ②経済状況の変化 ③都市景観・都市空間の変化などをはじめ、大きな変化と課題が生れつつあります。さらに2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催を機に、銀座周辺の街の変化、交通体系の変化が生れています。

それらの変化に対応し、全銀座会の各団体、各店舗の企業が連携をとりあいながらオリンピック・パラリンピック対応に街全体として取り組むため、2014年、全銀座会では、プロジェクトG2020を発足しました。G2020は単にオリンピック・パラリンピック対応のためのプロジェクトではなく、2020年をきっかけとして銀座という街の価値を向上させ、長期的に銀座のブランド力を維持することを目的としています。

10年以上にわたる活動を行ってきた銀座街づくり会議はG2020とともに、銀座がその魅力を最大限に生かし、オリンピック・パラリンピック後も、未来にわたって唯一無二の、光り輝く個性を放つ街でありつづけるために新しいまちづくりビジョンを描きたいと考えています。そのため、幅広く情報を集め意見を聞く機会が必要だと考え、2016～2017年度にかけて、連続シンポジウムを開催することにしました。

それらをまとめてゆき、アクションにつなげると同時に、2019年に銀座まちづくりビジョンの発表をめざします。

主催 銀座街づくり会議／G2020

〈今後のシンポジウムのテーマ〉(予定)

建築物と広告の関係

変わりつつある都市の街並みと建築

銀座の交通とまちづくり

銀座文化の継承と発信

世界に発信するブランド力

世界に伝える銀座街づくりルール

多様化する来街者たち

まちづくりの資源とは?

その他

詳細につきましては、決まり次第

銀座街づくり会議ホームページ
(www.ginza-machidukuri.jp)

にてお知らせいたします。

なお、タイトルと順番は変更になる場合がございます。

あらかじめご了承ください。

お問い合わせは、銀座街づくり会議

〒104-0061 中央区銀座4-6-1-3F TEL 03-3567-1535 FAX 03-3563-0236 WEB <http://www.ginza-machidukuri.jp/>